



Kenji Hamada
ALJ Myanmar CEO

「経験を生かして次の挑戦を」

—グループ会社同士の協力関係はありますか？

—その経験から来年立ち上げ予定のALJインドネシアを濱口さんという話にもなっていますね。

濱口 そうですね。インドネシアは文化の違いがあるので試行錯誤も必要かもしれませんがALJMMの経験を生かして、もっと早く成功させる自信はあります。

にも納得できる品質で上がってこない。どうすれば改善されるのかと疑問に思っていた時、直接ミャンマーに向いてみて、これは自分で改善したいなと思い、釘嶋社長に申し出たことがきっかけでマネージャーからいつのまにかCEOになっていた感じです。今ではだいぶ改善されて日本でも通用するレベルのものが仕上がるまでに成長しました。

—それぞれの会社で今、目指すところはどこですか？

福嶋 まずはALJ社内のDX化。DXってデジタルトランスフォーメーションの他に“デベロッパーエクスペリエンス”という強いなと思っています。

—それそれぞれの会社で今、目指すところはどこですか？

福嶋 ALJDXは設立されたばかりなのでこれから築かれていくと思います。ALJやALJMMの教育をALJEPが担って、ALJEPが使う教育コンテンツをALJDXが作ったりするのもできたらいいかなと思っています。そうやってお互い補ってゆくことができると思います。

濱口 僕は、これから流行る技術をALJDXにアンテナをはってもらって、将来的にはミャンマーにDXチームを作ってもいいかもしれないですね。最新技術をグループ内の海外リソースでできる環境を作れたら強いなと思っています。



ミャンマーのヤンゴンにあるALJ Myanmarのオフィス
社員数増加により増床移転を計画中

意味があります。”デベロッパーエクスペリエンス”とは、開発者にとって快適に働くための、高速な開発環境や文化、組織、システムを指します。まずはそれを社内内で成功させたいです。そこから社内情報システム部門が無い企業への技術の提供をし、持続性のある事業を行うためのITを提供できればと思っています。

濱口 そうですね。ALJ内でDX化できる部分がいくつもあると思います。つい今だけを見てしまいがちだけれど、先のことを考えてITをしっかり導入していきたいですね。

僕の目標は、ALJMMが日本でも通用する品質のものを作れるようになったし、育てきたリーダーたちもいるので、僕が抜けても会社が回る組織を確立し、僕が抜けた分の人件費を彼らに還元したいと考えています。

あとは、最近アメリカのシステム開発の単価を聞く機会があったのですが、日本よりはるかに高かったです。僕たちだって十分品質が良いものを作れているんだから、今後、そういった海外の案件を獲得していけるようになりますね。お客様には高品質なシ

テムを提供できるし、僕たちには大きな利益につながりますからね。

—ありがとうございました。お一人の今後の更なる活躍に期待しています！

ALJ Myanmar

オフショア開発 / 海外人材教育 / 現地コンサルティング

ALJ Myanmarでは、JavaとPHPに特化し、Webアプリケーション開発を得意としております。ラボ型や一括受託での開発を軸とした業務を行っており、ブリッジSEが駐在しているため日本との密な連携が可能です。日本クオリティの低価格・高品質なサービスをワンストップでご提供しています。

<http://www.aljmyanmar.com/>



ALJ DXTech

IoT、AR・VR、Wearable、AI、Cloud、FinTech、Bigdata等を用いた次世代デジタル(DX)技術開発

ALJ DXTechは、次世代デジタル(DX)技術に特化したシステム開発を強みとし、Mobile App開発を始め、IoT、AI、Fintech、Cloud、Bigdata等々、今後主流となるデジタル技術を主軸としたALJ Groupの戦略的専門会社です。

ALJ Groupが長年培ってきたナレッジを基に、よりスピーディにより柔軟に、お客様のニーズにお応えいたします。

<http://www.aljdx.com/>

